～～第７６９０回～～

大菩薩嶺

～Ｈ２７．６．７～

6時に静岡駅前を出発。新東名富士インターから西富士道路を経て、中央道を走り、勝沼インターを出る。フルーツライン、大菩薩ラインを進み、9時20分、上日川峠、大菩薩嶺登山口の市営駐車場に着く。かなりの登山客で、駐車場も路肩も車で一杯。ロッジ長兵衛の脇にある唐松尾根コースの登山口から登り始める。クヌギやナラの林の中を歩く。緑がきれいで気持ちがよい。しばらく進むと福ちゃん荘へ着く。さらに進む。唐松尾根コースの名前どおり、唐松の林で、新芽の緑が美しい。がれきの急登を進み、雷岩に到着。岩の上や所々で休憩している人、食事をしている人、ざっと数えて50人くらいはいた。さすがに首都圏のハイキングコースだ。若い女性の3人組は、お好み焼きを焼いていた。その香りが付近にただよっている。大菩薩嶺の頂上を目指して進む。10分で着いた。ここの頂上は、周囲を木に囲まれていて見晴らしはゼロ。雷岩に戻り、その先で昼食。この辺りは背の低い熊笹に覆われ、見晴らしがよく、眼下に上日川湖が見える。秩父多摩甲斐国立公園の一角を占めているだけあって、素晴らしい景観だ。2千メートルの高さだけに、風が冷たく薄ら寒い。手の甲も冷たくなってきた。昼食を終えて出発。賽の河原と呼ばれる「がれば」を通って、大菩薩峠へ降りてきた。ここには介山荘という宿泊施設がある。今日は曇りで、ガスもかかり、見晴らしはよくなかったが、天気のいい日はここから八ヶ岳、南アルプスが望めるそうだ。ここからの下り道は介山荘への荷物の運搬車が通るためか道幅も広くよく整備され、気軽なハイキングコースだ。1時間でロッジ長兵衛の登山口へ出てきた。

参加者：8名（静岡東6、静岡北2）

天候：曇り

地図：大菩薩峠

コースタイム：大菩薩嶺登山口930…雷岩1105…大菩薩嶺頂上1125…雷岩昼食1145‐1210…賽の河原…大菩薩峠1245…大菩薩嶺登山口1345

記録：静岡東支部　Ｆ・Ｍ